

2017Happy★ハロウィン in 洋光台 中央団地集会所 / 特設会場 / こどもログハウス等での開催記録

2017Happy★ハロウィン in 洋光台

主催：洋光台まちづくり協議会

協賛：はまぎんこども宇宙科学館、洋光台駅前公園こどもログハウス、サンモール商店街、ショップ27商店会、ルネッサンス in 洋光台（神奈川県、横浜市、UR 都市機構）

開催日時：2017 年 10 月 29 日 10 時～16 時

開催場所：中央団地集会所、洋光台駅前特設会場（一部）、はまぎんこども宇宙科学館（28 日も開催）、洋光台駅前公園こどもログハウス

来場者：700 人（中央団地集会所、スタンプラリー）、327 名（こどもログハウス）、はまぎんこども宇宙科学館 2,440 名（28 日：1,638 名）

2017Happy ハロウィン in 洋光台 進行スケジュール（雨天用）

雨天時配置

場所	内容	弁当	スタッフ								8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	備考
中央団地集会所	ステージ 仮装コンテスト	23	上田	星	上野	石川	平田1	平田2	泉	里											
			佐藤	千葉	阿久津	白川	佐藤	坂本	A												
			ふおるとうーな				妖怪しりとり														
	ブンブンおばけ	3	森(森)	森(未)	武内																
	怪獣叩きゲーム	3	井口	植田(徳)	西岡																
	コンテスト審査員	1	三上(真)	平田	松原	尾神	区長														
	本部	7	三上	松浦	平田	小林	松山	尾神	金子	渋谷											
	オーディエンス	0	大沢	鳴海																	
	いそっぴ (午前:弁当運搬)	3	小泉1	小泉2	小泉3																
		1	高林																		
	伝達	2	中川(直)	相川																	
	撮影	1	紀平																		
ドット ル横	スタンプラリー スタート&ゴール (交代で)	9	10～13時	中野	佐藤(幸)	船田	小山	松崎													
			13～16時	中川(直)	菅原	竹山	森(ケ)	大木													
	JSブース（交代で）	5	JS1	JS2	JS3	JS4	JS5														
公園	スタンプ③ (ログハウス前)	7	岩崎	菊池	大久保	田中(直)															
			山本	佐久間	大西																
	ログハウス		小泉4	小泉5	小泉6	小泉7															
	CCラボ 待機	1	真鍋																		
合計 66											8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

弁当:集会所37個 ラボ:29個

【雨天の場合】中央団地集会所にて実施

部屋の広さの関係上、コンテスト参加者を2つに分けて、2部制で行う。コンテスト参加人数が少なければ、1回で終わらせる。あくまで大枠なので、人の入りに応じて、臨機応変に対応する。

審査の待ち時間にブチステージ発表を行う。

必要なもの	スタッフ	案	備考
マイク	中川さん		
CDを流すPC	中川さん？ 相川さん？		
舞台装飾	2名？	ガーランド？	
司会	2名	上田、星	
受付	千葉さん、阿久津さん	参加者チェック、番号札渡す。（廊下？）	1～12番は洋室大を、13～24番は和室を案内する。
会場係	4名	会場内の案内係（投票用紙の配布回収）	会場係→なないろ、二小の児童？
集計	手の空いてるスタッフ	投票を集計する。	回収された投票用紙を集計する。
審査員席		洋室大の後方（椅子）	まちづくり協議会委員（三上）、中央団地自治会委員（幸田）、ショップ27商店会委員（松原）、こどもログハウス（金平）、横子坂（ケ）、UR（堀内）
投票用紙・回収袋	星さん	会場係が配布・回収	
番号札	準備→星さん（坂本さん）	ウチワ	
参加賞・賞品	購入→相川さん	元氣いっぱい賞、商店会ドリーム賞、ニコニコ賞、がんばって賞、なりきり賞+オーディエンス賞1	計6個
参加者一覧		審査員に渡す？	

<ステージ進行>

時間		プログラム	音楽 楽器	内容	備考	進行	スタッフ
12:30		コンテスト参加者受付	ピアノ・マイク	1～12番→洋室大へ 13～24番→和室へ	廊下で受付、誘導、投票用紙配布		
13:00	1	「ようかいしりとり」 で遊ぼう！①	ピアノ エレキギター？ マイク	〈1～12番〉 ペープサートを楽しんでもらう	〈13番～24番〉 和室で工作 仮装いそっぴ？ トリック写真	上田 なないろ ママバンド	洋一小6年生 3人 保護者
	2	仮装コンテスト①	BGM マイク	〈1～12番〉 一組ずつ紹介・インタビュー（1分程度）	仮装のコンセプトやこだわったところの発表。 決めポーズなど	星	
13:30	3	「ようかいしりとり」 で遊ぼう！②	ピアノ エレキギター？ マイク	〈13～24番〉 ペープサートを楽しんでもらう	〈1番～12番〉 和室で工作 仮装いそっぴ？ トリック写真	上田 なないろ ママバンド	洋一小6年生 3人 保護者
	4	仮装コンテスト②	BGM マイク	〈13～24番〉 一組ずつ紹介・インタビュー（1分程度）	仮装のコンセプトやこだわったところの発表。 決めポーズなど	星	
14:00	5	ブチステージ発表	ピアノ エレキギター マイク	なないろハーモニー シラハンマントサトキンマン（二小先生） ふおるとうーな 「仮装で恋ダンス」？	椅子は片付ける 1チーム10分ずつくらい PRしたいチームは来てもらってもOK？	上田	CDを流す係
14:30	6	結果発表	マイク	入賞者発表・賞品授与 写真撮影	入賞者に賞品、出場者に参加賞	星	賞品を渡す 手伝い
15:00		解散	マイク	コンテスト出場者は解散	残って遊ぶのも可	上田	
16:00		イベント終了		ステージパフォーマンスの アンコールをやっても？		上田	

台風や雨の状況によっては、開始時間をずらす可能性もある。

ランタン・山車コンテスト制作の様子



住民スタッフへの役割分担、スケジュール説明



こどもログハウス前スタンプポイント



特設会場の案内・スタンプラリーブース



中央団地集会所でのスタッフ仮装準備



仮装コンテスト・ステージ催し準備



スタンプラリーポイント（科学館前）



トリック写真撮影



仮装コンテスト参加者の来場（中央団地集会所）

ハロウィン当日の様子



スタッフ昼食（シフト制）



工作：ぶんぶんおばけ



ゲーム：怪獣叩き



仮装コンテスト参加者（休憩中）



J:COM テレビ取材



ゲーム：怪獣叩き（景品わたし）



工作：ぶんぶんおばけ



仮装コンテスト審査員と参加者



仮装コンテスト会場の様子（中央団地集会所洋室大）



仮装コンテスト参加者自己紹介



仮装コンテスト参加者自己紹介



仮装コンテスト参加者自己紹介



仮装コンテスト参加者自己紹介



劇：「妖怪しりとりで遊ぼう」



ゲーム：怪獣叩き



仮装コンテスト会場外の様子



仮装コンテスト参加者自己紹介



仮装コンテスト参加者自己紹介



仮装コンテスト参加者自己紹介



仮装コンテスト参加者自己紹介



仮装コンテスト参加者自己紹介



仮装コンテスト参加者自己紹介



仮装コンテスト参加者自己紹介



仮装コンテスト参加者自己紹介



ぷちステージ（なないろハーモニー）



仮装コンテスト審査の様子



ぷちステージ（第二小学校先生）



ぷちステージ会場外（廊下）の様子



ぷちステージ（なないろ&ふおるとうーな）



ぷちステージ（なないろ&ふおるとうーな）



いそっぴ登場



仮装コンテスト受賞者の発表



仮装コンテスト受賞者の発表



仮装コンテスト記念撮影



こどもログハウスの様子



こどもログハウスの様子（地下）



こどもログハウスの様子（地下）



こどもログハウスの様子（釣りゲーム）



こどもログハウスの様子（クイズ）



こどもログハウス前撮影スポット



2017 ハロウィン反省会



ハロウィンプレイパーク用ランタン製作のリベンジ (11/9)



ハロウィンプレイパーク用ランタン製作のリベンジ (11/15)



２０１７ハロウィンの成果

これまでの経緯

２０１３年から２０１４年のハロウィン

洋光台のハロウィンは、２０１３年にはまぎんこども宇宙科学館（主催）、洋光台駅前公園こどもログハウス、洋光台駅前サンモール商店街が共同で行ったのが最初である。ルネッサンス in 洋光台は、翌年２０１４年から、ハロウィンを通じて地域連携を進めることと、地域住民が主体となる活動として継続できるようにすることを主な目的とし洋光台ハロウィン（主催はまちづくり協議会に）に参加したが、洋光台のハロウィンは地域のイベントとしてまだ馴染みがなく、企画側に参加する地域住民は非常に少ない状況であった。しかし、ハロウィンに訪れた人は若者世代や親子を中心に参加者が非常に多く（主催者推定２５００人）、地域で望まれているイベントであることが分かった。

２０１５年のハロウィン

ハロウィンは若者世代や親子を中心に参加者が非常に多く、地域で望まれているイベントであることから、２０１５年も洋光台まちづくり協議会が主催でハロウィンを開催した。ハロウィンを準備するにあたり、洋光台まちづくり協議会内にハロウィン実行委員会事務局（洋光台まちづくり協議会会長、副会長、自治町会長４名）を設けてもらい、ルネッサンス in 洋光台がサポートするかたちで進めた。そして、２０１５年のハロウィンは、前年度よりも参加者が増え（主催者推定５０００人）、仮装コンテストを行うなど内容も充実することができた。

２０１６年のハロウィン

２０１５年のハロウィンが終わると、すぐに２０１６年ハロウィン事務局（メンバーは同じ）が立ち上がったが、住民が主体となる活動体制として不十分であることから、事務局以外に広報部会、制作部会、連絡会を設けて地域住民準備活動に係われる幅を広げ、多くの地域住民が参加できるよう、ルネッサンス in 洋光台がサポートしながら進めた。その結果、事務局メンバーが主体となって各自治町会に連絡するとともに、自分たちで参加者名簿を作成し地域住民を集めるなど、事務局メンバーの主体性が高まった。そして参加した地域住民は６６人（２０１５年は２４人）と多くの地域住民がスタッフとして参加するイベントとなった。

また、積極的に参加する意識が高まり参加グループも増え、企画内容の幅が広がったことで、より多くの人たちがハロウィンに係わることができ地域内の連携も深まった。

なにより、スタッフの多くが積極的にハロウィンを楽しむことができ、これらの成功や楽しむことを体験できたことで、地域住民の活動への積極性・主体性がより高まった。

本年度のハロウィン（２０１７年のハロウィン）

これまでのハロウィン実施において、企画運営の全てを地域住民が主体となっていける状況には至っていないことから、引き続き、地域住民が主体となる活動に移行するようルネッサンス

in 洋光台でサポートを行った。サポートは、昨年のハロウィンのような実行委員会事務局で内容を検討し、広報部会や制作部会が実際の活動を行う体制では、実際の活動を担うスタッフの積極性、主体性が高まらないことから、活動がより活性化するよう、まず広報部会、制作部会で実施したい内容を検討し、実際に出来る体制を先に構築する方法で進めた。具体には、2016年ハロウィンに工作やステージでの演奏等に参加したグループを中心に、自分たちで出来る2017年ハロウィンの内容を検討。その内容を事務局で再度検討し、より実行性が高まるよう必要な対応を事務局が行った。この進め方により、これまで以上に住民が主体となる活動となった。

また、開催当日は雨天となり企画内容の多くが中止となるなど残念な結果となったが、雨天にも係わらず、スタンプラリーに参加する人も多く、中央団地集会所で開催した仮装コンテストにおいては、参加者とスタッフが一体となって盛り上がるなど、新たな展開ができた。



成果

◎自治町内会を軸とした地縁型コミュニティ活動とテーマ型コミュニティ活動の連携を図ることが出来た。

地域を活性化するには、より多くのコミュニティ活動が連携することが必要であるが、地縁型コミュニティ活動とテーマ型コミュニティ活動は、その目的、メンバー構成、活動時間・範囲等が異なることが多く、接点が少なく連携した活動も行いにくい。しかし、ハロウィンには地縁型コミュニティ活動（自治町内会）とテーマ型コミュニティ活動（音楽、アート、福祉等）の双方が、まちを活性化したいという同じ思いで係わっていることから、双方が積極的に意見交換し、活動もともにしたことで、関係性を深めることが出来た。このことがきっかけとなり、今後の様々な活動において更なる連携が期待される。

◎役割分担を明確にしたことでスタッフの積極性、自覚性が高まり、実行委員会の体制が整いつつある

実行委員会事務局は方向性を決める役割、広報部会・制作部会は出来ることを企画し実行する役割としたことで、それぞれに責任が生まれ、個々が積極的に係わるようになった。それにより全体の流れがスムーズになるなど、実行委員会の組織体制が整いつつある。特に事務局の役割となる方向性の検討は、危機管理の視点も必要であるが、雨天時の対応検討においては、様々な活動を行っている経験を活かし迅速な判断を行い、人員不足の課題も地域のネットワークを使い解決するなど、自分たちのイベントであるとの自覚が高まっている。しかし、ハロウィン全体調整はルネサンス in 洋光台事務局が担っている状況であり、今後は、ハロウィンが更に自分たち（まちづくり協議会）のイベントとなるよう、ハロウィン実行委員会をまちづくり協議会内の活動組織として位置づけ、地域住民が全体調整をも担っていくことが望まれる。

◎ハロウィンと既存の地域活動が連携し、新たなハロウィン企画となった

今回、はまぎん こども宇宙科学館とこどもログハウスの連携をより高めるために、洋光台駅前特設会場と洋光台駅前公園を廻るスタンプラリーを実施することとなった。その洋光台駅前公園では、月2回のプレイパークの活動（まちづくり協議会夢環境部会が実施）が行われており、この活動とも連携出来ればハロウィンがより盛り上がるのではとの考えから、夢環境部会会長（三上氏）に相談したところ、快諾が得られハロウィンプレイパークを実施することとなった。このハロウィンプレイパークは、夢環境部会が主体となって準備・実施する（はまぎん こども宇宙科学館やこどもログハウスと同様のスタイル）ことになり、既存の活動との新たな連携企画となった。（開催当日は雨天で中止）

◎既存組織との連携が深まりつつある

ハロウィンで行うゲームは、怪獣叩きと射的であるが、射的の道具は中央団地自治会から借りることから、道具の扱いに詳しい中央団地自治会所属のスタッフが射的を担当し景品購入も行

うこととなった。また、怪獣叩きは、2017年の四丁目自治会夏祭において、ルネッサンス in 洋光台が実施しており、その時の連携を受けて四丁目自治会が担当することとなるなど、既存の組織体制のスタイルでハロウィンと連携する流れとなった。今後は更に多様な既存組織との連携を深め、ハロウィンを地域全体で支えるイベントにしていくことが望まれる。

課題

◎条件整理に時間がかかり、スタッフ同士での検討や制作時間が不足ぎみであった。

広報部会、制作部会で実施したい内容を検討し、実際に出来る体制をつくったことで、係わるスタッフの積極性が高まったものの、これまで開催場所としてきたサンモール広場が工事中で使用できないことから別の会場の検討を行う必要があり、その検討や会場とするための調整に時間がかかり、内容を具体的に検討するための時間や、飾り付け制作などの時間を十分にとることが出来なかった。次年度はサンモール広場が新しくなることから、ハロウィン開催にあたっては、早期に条件を整理し、課題への十分な対策をおこない、内容の検討や制作に支障のないように進めることが望まれる。

◎雨天時の内容や役割分担等の検討時間が十分にとれなかった。

開催当日は雨天となったため、企画した内容の多くが中止となり、晴天時の企画内容や役割分担の善し悪しの判断は出来ないが、雨天時の内容や役割分担は概ね成功であった。しかし、その検討は、直前までほとんど行っておらず、悪天候の予報が直前に出たことから、一部の事務局スタッフが急きょ検討・整理を行った。今後は、悪天候の場合も想定し、スタッフが集まって知恵を出し合う時間を早い段階から持つことが望まれる。

◎地域住民が主体となって行える状況には至っていない。(キーパーソン不足)

企画運営に直接的・積極的に係わった地域住民は事務局、広報部会、制作部会合わせて11名(2016年は9名)で、増えつつあるものの人手不足の状況であった。今後は、経験を重ねた地域住民を中心に新たな参加者を増やし、十分な体制で企画運営を進めることが望まれる。しかし、人が増えても、それらをまとめられるキーパーソンの担い手はいない状況であり、キーパーソンづくり(探し)が最も重要な課題となっている。